

当会の「観察会」にご参加いただいた皆さんへ。

2007年11月10日 六甲自然案内人の会 定例観察会

コース：諏訪山公園～大師道～猩々池～大竜寺～市ヶ原～布引の滝～新神戸駅

参加者 ビジター13名。会員18名。入門コース5名。合計36名。

天気 晴れ

お天気が悪いとの予報でしたが、良い方にはずれて暖かい晴れの天気でした。

今回の観察コースは六甲山系でも標高の低い山麓をめぐるコースでした。

歴史的にも興味深い道を歩き南北朝時代まで思いをはせる大竜寺の境内、神戸の毎日登山発祥の地である、善助茶屋跡などにも立ち寄りました。

猩々池までは山麓の樹木を代表するアキニレ、ムク、エノキ、イヌビワ、などのオンパレード、イロハモミジ、シラカシ、マメヅタもきれいでした。



キチジョウソウ



イロハモミジの林 まだ緑色

猩々池付近（以前は水がちゃんとあり、トンボがたくさん飛んでいたのですがまた復活するのか？）で昼食をとり、大竜寺にちかづくとも周囲は一変し、スダジイの大木が何本も自生する森歩きになりました。この木がまだ小さかった頃、我々の祖先がこの道を歩いていたのかな？と古い時代をおもいました。布引のダムでは水量の低さにおどろきました。



大竜寺
歴史解説
柏堂氏



このコース、イヌビワが多いコースでした。
イヌビワとイヌビワコバチの共生関係。まだまだ
わからないことがいっぱいです。

ツメレンゲ

今回のコース3カ所で観察できました。
兵庫県レッドデータCランクに指定されて
いる植物です。
参加者の方から『昔は藁葺き屋根の上に
いっぱい生えてる雑草やったんやけどなあ』
というお話を伺いました。
ツメレンゲよりも藁葺き屋根の民家の方が
絶滅したようですね。



シマカンギク

大竜寺から市ヶ原に行く道、市ヶ原から布引ま
でたくさん咲いていました。同じ黄色でもヤク
シソウは葉っぱの形や花の様子が違いました
ね。

伊丹勤労者山学会の方7名参加していただきました。

いつもの規則的な山歩きのペースと違って、かえって疲れた。との感想がありましたね、
定例観察会はコース設定も毎月違いますので、これに懲りずまたご参加下さい。

※観察会案内に集合 午前9時 諏訪山公園とありました。

諏訪山公園は広い範囲にあり、当日の集合地点を【花と緑のまち推進センター西隣り】と
注記するべきでした。上の諏訪山公園まで行かれた方、申し訳ありませんでした。

写真提供：長谷川・中塚・安岡 文：安岡

次回、観察会のご案内状、同封いたしました。亦のご参加お待ちしております。

六甲山自然案内人の会

